特定非営利活動法人 希望と輝きのまちひがしねを創造する　第30号　2016年9月

クリエイトひがしねニュース

発行　NPO法人クリエイトひがしね　999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-0732 www.higashine.org　発行責任者　菊 地 和 博

「ドリームキャッスル」完成!

東根市青年会議所創立40周年記念事業とドッキングした手作り遊具です。壁面にはみんなの思いがいっぱいつまっています



タントクルセンターの魅力

NPO法人クリエイトひがしね
理事　本 間 義 章

タントクルセンターがオープンして11年が経過しましたが、1日平均900人以上、年間で33万人以上、しかも11年間ほぼ横ばいの来館数で経過しています。行政関係者や一般の方も視察で来館されていますが、なかには個人で遊びに来てすごく良かったので、みんなを誘って視察に来館された方もおります。この魅力は、ハードとソフトの両面がうまく機能し、来館者を心地よくさせているからなのかも知れません。

ハード面では、大ホールや各種会議室・保育所・子育て支援・健診休診設備・遊び場など、乳幼児の親子から年配者まで楽しめる機能が満載です。ソフト面では、子育てから市民の健康管理を預かる行政、管理運営の委託を受けている我々クリエイトひがしねの職員、大ホール担当のエンジニア、清掃を請け負うシルバー人材の方々、守衛室の方など、多数の職種の方が係り合う協働の賜物であると感じています。

また、施設運営の要となる我々クリエイトひがしね職員のチームワークも大きな要素です。総合受付職員の気くばり、子育て支援・ファミリーサポートセンターの親身な対応、あそびのイベントを工夫し、子ども達を引き寄せるけやきホールの職員、みんなプロ意識を持った明るい応対から"また来てみたい"が生まれているような気がします。

最近になってまわりの市町村にもけやきホールを参考にした遊び場ができました。でも、けやきホールの来館者はほとんど減少しておりません。これも魅力ある施設のひとつの証かもしれません。また、あそびあランドと連携した、屋内外の遊育・共育の実践も大きな可能性を持っています。もっともっと市民の皆さんに利用していただけるよう、愛されるタントクルセンターになれるよう、これからもスペシャリストを目指していきたいと思います。

自主事業

ワークショップ2016

７月16・17日、「クリエイトdeワークショップ2016」を開催しました。
ＮＰＯ企画員のかくれた得意の分野を生かし５つのブースをつくり、
大人から子どもまで楽しめる企画にしました。

パステルアート



「楽しい！」「うれしい！」という、私が始めて経験した気持ちを、少しでも子ども達に伝えたいという想いで行ったパステルアート。今回は題材を４つの中から選べるようにしてみました。パステルの素材に興味を持ちたくさんの色の中から好きな色を自分で選び、「できた～」「楽しかった～」という子ども達の言葉が大きな喜びになりました。（庄司美保子）

ワンコインネール



子育てサロンに参加されているネイリストのママ達３人が、「ままきゅあ」という名前で各イベントで活動しています。そんなママ達に輝いて欲しいと思い企画したワンコインネイル。当日は、未来のママ？の女の子たちもたくさん参加、自分たちの好きな色のネイルにみんなウキウキワクワク、とってもいい顔をしていました！（渡辺友美）

トートバックつくり

参加者は何人ぐらいだろうか、どのように進めようか？と不安な気持ちで迎えた当日。開始と同時に子ども達が来てくれまずはひと安心。子どもたちは大人の心配などおかまいなしに集中し、どんどんバックを楽しそうに作っていました。「子どもたちの感性ってすごいなぁ～」と始める前の不安もふっとび、刺激を受けた1日でした。（奥山節子）



アイロンビーズ

私たちの心配をよそに一時は順番待ちが出来て、対処しきれないほどの盛況ぶりでした。短時間で集中して作品を仕上げる子、途中で飽きてしまいお家の人に手伝ってもらい頑張って作った小さい子。見本にはなかった恐竜をスマホを見ながら完成させた親子。とにかく目を見張ることが多かった一日でした。（原田賀代）

多肉植物の寄せ植え



地元の花屋さん「花みち」の鈴木さんを講師に迎え、最近人気の「多肉植物の寄せ植え」を行ないました。鉢つくりから教えて頂き自分で好きな苗を選べるということで、とてもオリジナリティあふれるかわいい寄せ植えが出来上がりました。いつもは家事や子育てで忙しい毎日ですがほっこり親子で楽しめるワークショップとなりました。（安達恵美）

世代交流フリー級 スポーツ大会

地域の施設を使って様々なスポーツを世代オープンみんなで楽しむスポーツ大会、第１回は卓球を楽しみました。普段は子どもたちに合せて遊んでいる大人や中学生もこの会に年齢差は関係ありません。本気を出し汗を流してストレスを発散してもらいました。卓球を初めて体験した子ども達は次はどんなスポーツをやるのか楽しみにしていました。

（斉藤翔太）





東京オリンピックをめざします

東松島で だがしや楽校！



竹あそびに熱中する支援センターのスタッフ

８月24日、東松島市矢本子育て支援センターに９名の会員で慰問に行きました。震災以来５回目の慰問になります。このセンターには地域の親や祖父母と一緒に３才以下の子ども達が遊びに来ます。今回は祖父と女児、母子の二組だけでしたので、スタッフの研修として東根の伝承遊びをやりました。４名の保育士が、慣れないお手玉、おはじき、まりつき、ゴムはね、竹遊びに興味をもって取り組んでくれました。来所のおじいちゃんも紐廻しコマは初めてと悪戦苦闘で、少年に帰った笑顔になりました。ボールプールではけやきホールの遊び方を紹介すると「それっていいね」とスタッフの声。２時間近くの研修会となりました。（鈴木茂子）

ひがすねつあ～ず

ひがすねつあ～ずは、まだ知らない東根のいいところを探そうという企画です。第１回目の７月30日は、大森工業団地の日本エアーリキッド、タイパラ様、東根消防署を周りました。エアーリキッドでは液体窒素を使った実験などを体験。タイパラ様でちょっぴり歴史の勉強。消防署までは頂いた風船を持った親子の可愛らしい行列が続きました。

消防署では救急車に乗ったり、消防士の重い服を着せてもらったり。初めての体験に目がキラキラ、終点のタントクルセンターでおやつを食べ、面白くて暑くて美味しい一日でした。（細谷由紀）



液体窒素を使った人体実験





消防士ってかっこいいな

楽楽クラブに参加して

髙橋ミヨ子

「楽楽クラブ」の名称はズバリ楽しい楽しいことをするという意味です。ハイキングあり、料理、手芸、歌あり運動もあります。またハンドベル演奏で生涯学習フェスティバルに出演したり、手話なども経験することができました。タントクルセンターで行っているだがしや楽校ではお手玉やおはじき、まりつきなど、子ども時代のあたりまえの遊びがそのまま生かされ、昔遊びの先生役になります。ぎこちない手つきだが真剣な眼差しの子ども達、今の子どもたちの遊びは私たちの時代とすっかり変わってしまいましたが、大人になった時どのような思い出が残るのでしょうか。こんなことを考えながら充実した楽楽の毎日です。

みんなに支えられて
けやきジュニア合唱団

合唱指導　東海林恵里子

このたび合唱団の子どもたちと一緒に音楽をつくっていくことになりました。メンバーが４才からスタートしていることに驚いています。「先生、私ここ歌えるよ、大好き」といってのびのびと歌ってくれるＫさん。その姿に、「歌は自分の心を開放して楽しむこと」の大切さを教えられました。さらに合唱団をサポートしてくださる地域の方々、保護者の皆様、そしてピアニストの先生。みんなが一つになって今年のサウンドをつくっていければ幸いです。ぜひたくさんのみなさんが合唱団に入ってくれることを心待ちにしています。いつでも練習風景を観に来てください。

企画員　保　科　時　子

忙しそうにしている先生方を見かけ「何か手伝いすることありませんか」の一言がきっかけで、昨年から合唱団のお手伝いをしています。どんなお手伝いができるか心配でしたが、子どもたちとあえることが楽しく元気をいただき、事業に参加するときの先生方と子どもたちの一生懸命な姿に感動しています。これからも楽しくお役に立てればと思っております。

保護者　松　田　　香

兄弟でお世話になっています。先に入団したのは歌うことが大好きな妹でした。おぼえた曲を家で口ずさみ、楽しく練習に行く様子をみている内に、兄も「やってみようかな」と言い出しました。正直驚きました。歌うことは好きな兄ですが、人前にでて歌うような性格ではないので、大丈夫かなと思いました。そんな親の心配をよそに、楽しく練習に通いたくさんの曲をどんどん覚えていく子どもたち。大きな舞台や大勢の人の前に立ち、堂々と歌う姿。楽しく愉快に教えてくれる先生方、楽しい仲間と過ごす時間がとても心地いいようで、あっという間に一年がたちました。これからも合唱を通してたくさんの人に出会い、いろいろな経験をして自信につなげていけたらいいなと思います。親子ともども貴重な経験をさせて頂いています。

山形県少年少女合唱団のお友だちといっしょに
（緑のベストがけやきジュニア合唱団）



事務局の窓

◎毎月のタントクルセンターとあそびあランドの休館日を利用して、職員研修をしています。今年は各業務におけるスペシャリストをめざして、さまざまな研修プログラムに取り組んでいます。８月の休館日には外部講師をお招きして、「コミュニケーションスキル」を高めるために、実践を取り入れた参加型の研修を行いました。受講するだけのものではなく、実際にワークする中で体で覚えていきます。企画員で参加希望の方は是非事務局までご連絡下さい。（K）

クリエイトひがしねの活動が見られます

■ホームページ　クリエイトひがしね あそびあランド　検索

■フェイスブック　あそびあランド　検索

編集後記

★私たちは、地域のいろいろな団体・個人の方々に支えられながら活動を続けています。今回は企画員を中心にした自主活動を取り上げてみました。ほとんどは各部署に勤務するスタッフですが、今回の自主事業で見せてくれた多彩な才覚にあらためて感心しました。

★菊地理事長が３年前の真壁仁野の文化賞に引き続いて斉藤茂吉文化賞を受賞しました。わが法人の誇りです。みんなが目指せるような賞ではありませんが、せめてはげみにしたいものです。おめでとうございます。（M）